

2024 年 4 月 16 日

2024 年度第 1 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2024 年度第 1 四半期決算を発表しました。

第 1 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、2023 年度第 1 四半期における 82 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.94 ドル)に対し、67 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.76 ドル)となりました。
 - 調整後純利益(FDIC 特別査定を除く。)は 72 億ドル(調整後希薄化後 1 株当たり利益は 0.83 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、440 百万ドル(2%)減少して 258 億ドルとなりました。これには、投資銀行事業手数料及び資産管理手数料の増加、販売及びトレーディング収益の増加並びに純受取利息の減少が含まれます。
 - 純受取利息は、預金コストの上昇が資産利回りの上昇及び貸出金の小幅な増加を上回ったため、3%減少して 140 億ドル(FTE ベースで 142 億ドル)となりました。
- 貸倒引当金繰入額は、2023 年度第 4 四半期の 11 億ドル及び 2023 年度第 1 四半期の 931 百万ドルから増加して 13 億ドルとなりました。
 - 2023 年度第 1 四半期においては 124 百万ドルの引当金の積増し(純額)、2023 年度第 4 四半期においては 88 百万ドルの引当金の取崩し(純額)であったのに対し、179 百万ドルの引当金の取崩し(純額)となりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2023 年度第 4 四半期の 12 億ドル及び 2023 年度第 1 四半期の 807 百万ドルから増加して 15 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、10 億ドル(6%)増加して 172 億ドルとなりました。
 - FDIC 特別査定を除くと、調整後非金利費用は、約 300 百万ドル(2%)増加して 165 億ドルとなりました。
- 平均預金残高は、2023 年度第 1 四半期より 140 億ドル増加して、1.91 兆ドルとなりました。
- 期末現在の預金残高は、2023 年度第 4 四半期より 230 億ドル増加して 1.95 兆ドルとなりました。

- 平均貸出金及びリース金融残高は、2023 年度第 1 四半期より 1%増加して 1.05 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動資金は、9,090 億ドルとなりました。
- 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2023 年度第 4 四半期から 20 億ドル増加して 1,970 億ドルとなりました。
- CET1 比率は、11.8%(標準的アプローチ)となり、最低所要自己資本比率を 184 ベーシス・ポイント上回りました。
- 普通株式配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 44 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、7%増加して 33.71 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、9%増加して 24.79 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率(ROE)は、9.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率(ROTCE)は、12.7%となりました。調整後 ROE は 10.2%、調整後 ROTCE は 13.8%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。